

POKERFACES FOUND IN THE STREET

# 顔さがし 街を歩いて アートする

社

の

ポ

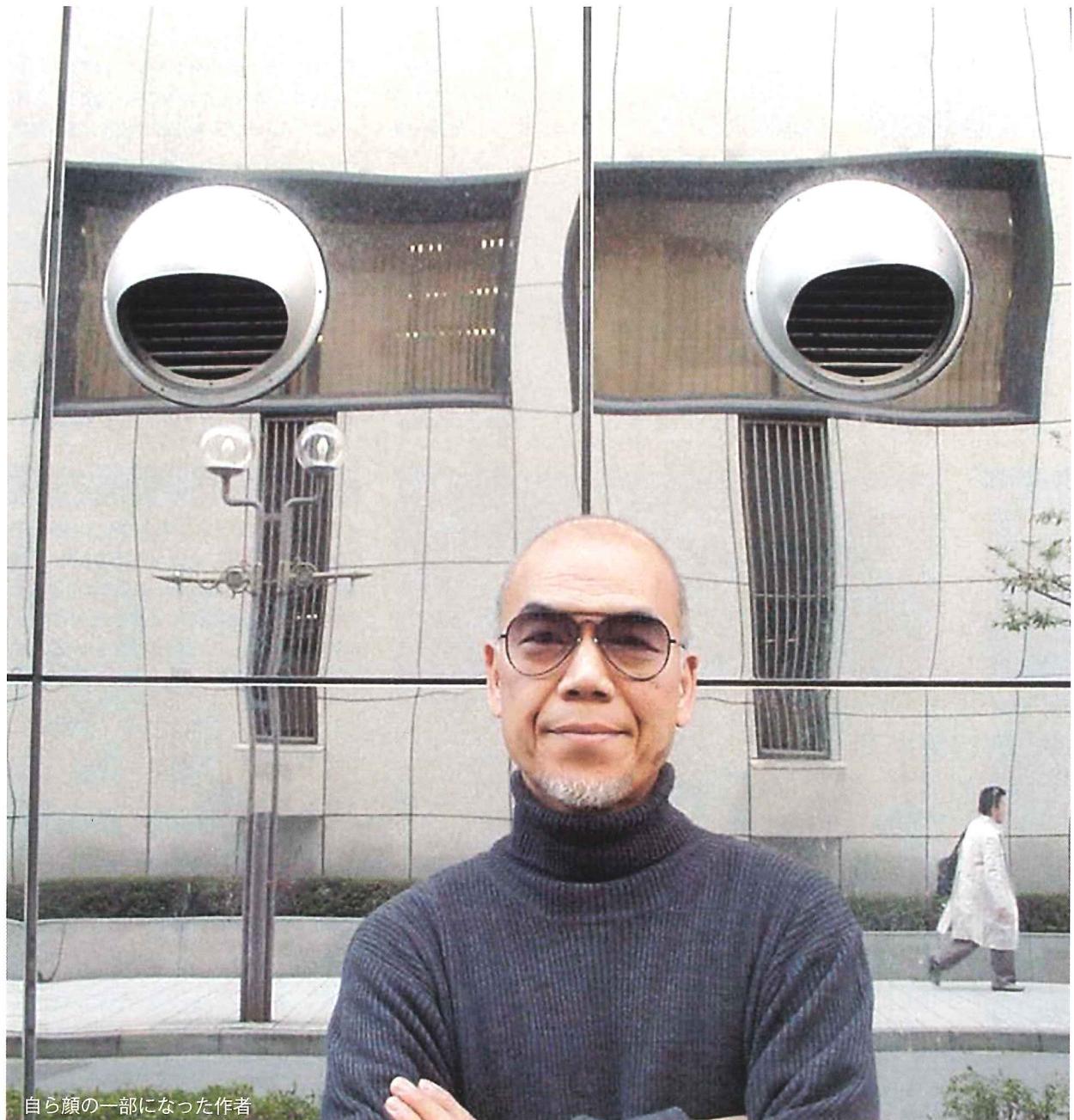
カ



エ

イ

ス



自ら顔の一部になった作者

「街のポーカーフェイス」と題し、街に潜むユーモラスな「顔」を長年カメラで撮り続けている阪東勲（上板町出身）の写真展を開催します。そのユニークな視点と、ほほえましい作品はイタリア、アメリカの写真雑誌をはじめ、日本的小、中学校の美術の教科書にも採用されています。今回はパリ、日本各地で撮影されたものに加え、徳島での新作も展示します。各種の新聞、雑誌に連載されたエッセーなどもご覧ください。

## 視点を変えれば見えてくる「街のポーカーフェイス」

見慣れた街や通りで、何気なく見過ごしていたモノの中に、顔に似た面白い形を目にします。このような「顔」との出会いは楽しく、街やモノに対する好奇心や想像力をかき立ててくれます。数々の作品から観察、発見、記録、考察する街歩きの楽しさが伝わってきます。

2018年

12月16日[日]→2月8日[金]

言の葉ミュージアム

徳島県立文学書道館

2019年

入場無料 9:30 ~17:00

□休館日：月曜日（ただし12月24日、1月14日は開館、翌日休館）  
年末年始（12月28日～1月4日）

〒770-0807 徳島市中前川町2丁目22-1  
Tel.088-625-7485 ホームページ <http://www.bungakushodo.jp>

## パリのポーカーフェイス



「さけび」(2001)



「天国への道侵入禁止」(2001)



「アトリエのモデル」(2001)



「モンマルトルのポストマン」(2001)



「壁影の四季」(2005)



50mのウォールアート 大阪心斎橋 (2016/4~2017/1)



「砂風呂」(2018)



「発声練習」(2018)



「関取り阿波錦」(2018)

## 街のポーカーフェイス

人間は健康で文化的な生活を求め、この地球上に様々な生活道具や居住空間を造ってきた。豊かさの象徴としての街。その街の中に潜む顔に似たユーモラスな造形を発見、撮影、記録して歩くのは楽しい。街のポーカーフェイスは足下の道路、それに沿って林立する建造物、さらにその上に広がる空や雲など、360度の視界そのすべてが観察の対象になるフィールドワーク。1977年から阪東勲がライフワークとして取り組んでいる。ポーカーフェイス「pokerface」はポーカーで手札を読まないように無表情を装った顔。街に潜み、無表情でいるモノの顔がそれに似ていることから名付けた。  
www.pokerface-photo.com

## 阪東 勲 (ばんどう いさお)

1943年、徳島県板野郡上板町生まれ。グラフィックデザイナー、フォトグラファー。1970年、丸大本社デザイン室入社、2000年に退社。現在、成安造形大学、OCA大阪デザインIT専門学校、大阪総合デザイン専門学校の講師。1977年から街に潜むモノの顔を、街のポーカーフェイスと題して撮り始める。1994年から全国の百貨店や美術館で展覧会、ワークショップを開催。新聞、雑誌でフォトエッセーを連載。作品はイタリア、アメリカのグラフ誌に掲載され、1997年から小学校の図画工作、中学校の美術の教科書に採用される。写真集『街のポーカーフェイス』、写真絵本『ふしぎなまちのかおがし』(岩崎書店)などがある。また、伊奈吾のペンネームで文画集『味のある風景』(淡交社)を出版。イタリア、フランス、イギリスなどポーカーフェイス世界の街角シリーズを撮影中。

### 展覧会履歴 (1994~)

ポーカーフェイス100面相展 (心斎橋、長崎、今治、高知、鳥取の各大丸百貨店)	1994
街のポーカーフェイス写真展 (弘前中三百貨店)	1995
イタリアンポーカーフェイス写真展 (大阪ソニータワー)	1996
富山の顔発見! (高岡市美術館、主催NHK富山放送局、北日本新聞社、富山県)	1996
街のポーカーフェイス展 (今治大丸)	1997
街のポーカーフェイス写真集出版記念展 (大阪ソニータワー)	1997
ATCのポーカーフェイス写真展 (ATCアートギャラリー)	1998
銀座のポーカーフェイス写真展 (東京銀座ソニービル、ソミドホール)	1998
世界の、日本の、山科の「街のポーカーフェイス写真展」(丸やましまな店)	1998
神戸居留地返還100年記念「神戸の街のポーカーフェイス写真展」(大丸神戸店)	1999
パリのポーカーフェイス写真展 (東京オリンパスギャラリー、大阪ソニータワー)	2001
街のポーカーフェイス写真展「御堂筋のゆかいな顔たち」(大阪ソニータワー)	2003
「堺のまちの顔がし、街のポーカーフェイス in SAKAI」(堺市・ソフィア堺)	2006
街のポーカーフェイス写真展「湖族の郷の顔がし」(大津市堅田・湖族の郷資料館)	2011
街のポーカーフェイス写真展「ふしぎな街の顔がし」(大津市・成安造形大学)	2012
街のポーカーフェイス写真展「ふしぎな街の顔がし」(ギャラリーマロニエ)	2012
ポーカーフェイス世界の街角「POKER FACE in LONDON」(丸大心斎橋店)	2015
街のポーカーフェイス写真展「顔がし街を歩いてアートする」(丸大本館工事壁画)	2016
ポーカーフェイス世界の街角「POKER FACE in PARIS」(パリの美術大学AUTOGURAPH)	2018
街のポーカーフェイス写真展「京都の街の顔がしPOKER FACE in KYOTO」(丸京都店)	2018
阪東勲の「木に成る顔たち写真展」(徳島県那賀郡那賀町・相生森林美術館)	2018

1月13日 日 午前11時~12時 ※申し込み不要

阪東勲 ギャラリートーク

「街を歩いてアートする」

成安造形大学講師で、本展作家の阪東先生から不思議なモノの顔との出会い、観察や街歩きの楽しみ方などを語っていただきます。



午後1時30分~4時30分

※要申し込み (先着 20 人、親子での参加可)

阪東勲ワークショップ

「街を歩いて顔探し」

○お申し込み方法

ハガキ・FAX・メールのいずれかに「阪東勲ワークショップ」と明記の上、郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号を記入し、下記までお申し込みください。当館受付でも申し込みます。

〒770-0807 徳島市中前川町2丁目22-1 県立文学書道館  
FAX 088-625-7540

メールアドレス kotonoha@bungakushodo.jp

### 交通アクセス (JR 徳島駅から)

#### ◆徒歩 約 15 分

JR 徳島駅西側のポップ街を抜けて右折。踏切と助任川を越え、3つめの信号交差点を右折して約300m。徳島中学校東隣。

#### ◆バス

【徳島市営バス】

7番乗り場「川内循環線(右回り)」に乗車。「吉野本町2丁目」で下車し、徒歩で約5分。

【徳島バス】

2番乗り場「前川経由」に乗車。「吉野本町2丁目」で下車し、徒歩で約5分。

#### ◆タクシー・自動車 約 5 分

国道 192 号線、藍場町交差点を北進。助任川を越え、4つめの信号を右折して約300m。

#### ◆駐車場

当館北側にあります(43台、大型バス2台)。

